

新火葬場の建設について

高山市政クラブ
沼津光夫



問

丹生川の候補地は寄附と聞いているがどのような経緯か。その土地は現在市有地か。また、今後の進め方はどのような手順とスケジュールか。

答

新火葬場候補地の公募にあたり応募をいただいたもの。当該土地の所有権は市にはない。また、建設地の決定時期は定めていない。市民からいただいた意見を加味し、検討委員会の答申内容の精査や概算経費の検討など、決定に向けた事務を進める。市民への説明会などを丁寧に行い、建設地の決定後には、地域住民の思いを聞きながら、周辺環境の整備や施設の設計などを進める。



窓口のワンストップサービスについて

高山市政クラブ
榎隆司



問

高齢者等が亡くなった際の各種手続きをワンストップで対応できる体制が必要と考えるが。

答

ワンストップサービスについては、市民の利便性向上に必要な視点であると認識している。窓口業務については、昨年度まとめた窓口業務改革の取組方針に基づき、窓口業務の集約化や委託化、ICT活用などの視点で見直しを進めている。ワンストップサービスを含めた窓口業務の見直しを継続して行い、市民にとって利便性の高い窓口を目指している。



高齢者等への支援について

日本共産党高山市議団
上嶋希代子



問

高齢者によるブレーキの踏み間違いによる自動車事故が日常化している。高齢者世帯では、車利用が欠かせない生活のなかで「誤発進抑制装置設置」助成を市として取り組む必要はないか。他市ではすでに実施しているところもある。事故防止の対策は緊急を要する事柄なので早急に結論を出し、手をうってほしい。

答

現在乗っている自動車に取り付けができる高齢者の事故防止のための誤発進抑制装置については、高齢者の事故防止のための総合的な対策の中で検討を進めている。



新火葬場建設候補地は住民合意で選考を

日本共産党高山市議団
牛丸尋幸



問

新火葬場の建設候補地について、検討委員会から3か所が答申された。市がその中から1か所選考するとき、評価項目に地元住民の理解度も入れるとともに、評価項目ごとに点数配分する重み付けを行うべきではないか。評価方法も含め選考方法を事前に公表して、住民合意を得ながら進めるべきではないか。

答

3年間かけ検討委員会で候補地を選考してきた。それを市として精査する必要がある。概算経費など市として検討すべきこともある。情報公開できるものは公開して、必要があれば対話の場も設けたい。

